

東海大学日本語文化学系校外実習心得報告 113 學年 1 學期

2025 年 1 月 10 日

學 號 / 姓 名	S101502〇〇
實 習 地 點	空港ターミナルサービス株式会社 (A T S)
實 習 期 間	2024 年 7 月 1 日 ~ 2025 年 6 月 30 日
實 習 心 得 内 容	<p>東海大学日本語文化学科では、様々なインターンシップの機会があり、説明会で基本的な情報だけではなく、卒業生からのアドバイスを受けることもできる。2024年、東海大学は、空港ターミナルサービスというインターンシップの契約を結んだが、これは初めての試みであるため、関係者の多くは詳しい状況をまだ把握していない。</p> <p>これまで、日本で仕事に要求される能力については、多くの創造物や書籍で解説がなされてきた。しかし、事前に注意すべきことや会社の雰囲気、直面するかもしれない困難などを詳しく記録したものは、まだ作られない。</p> <p>それで、何も分からないまま一人でこのインターンに参加することになった。本当は友達と一緒に別のインターン先に行くことも考えていたが、自分は大学四年生なので、専攻研究も兼ねられることを考慮して、最終的にここに決めた。</p> <p>そこでは、一方では様々な業務を学びながら、一方ではインターンシップに参加したい後輩たちの役に立つようにすることを目的とする自分の経験を基にマニュアルを製作している。製作内容は面接や事前準備、詳しい仕事内容、直面するかもしれない困難、周りの環境、余暇の過ごし方などに分けて、参加したい後輩たちにとって、会社の雰囲気をより理解しやすい作品を作りたかった。</p> <p>最初の際にわからない言葉ばかりだし、わからないこともいっぱいあるし、言語をスイッチするスピードが遅く、敬語の使い方も難しいので、私が本当にできるかどうかをずっと考えており、自分の能力も疑った。なお、仕事の内容はいっぱいあり、それぞれの内容も違うし、全部が覚えられるわけがないが、私の個人的な習慣という、本にノートを書くことやアンショウコを作ることは全然なかったので、どうやって学んだ内容ややることの順番をまとめて、わからない場合があれば他の人に聞かずに、見るとすぐわかるように本を作るかは一番困っていた。</p> <p>半年間の経験を経て、ほぼな業務を一人でこなせるようになり、ミスが発生した回数も来</p>

たばかりの頃ほど多くはなくなった。10月までずっと最初に配属されたフィリピン航空の旅客業務をやっていただけが、11月から同じATSがハンドリングしている中国南方航空がめっちゃ忙しくなり、人手が全然足りなかったので、中国語ができるの私がそちらのある程度の旅客業務もヘルプに行っていた。元々この兼任をずっと続けていく予定だったが、2025年ATSが新しい中国系の航空会社がハンドリングするので、この新しい業務を集中するので、その兼任が2024年まで終わった。ほぼ全てフィリピン航空ユニットの社員が新しい業務に入る予定で、ATS第二ターミナルのユニットの中に唯一中国語できるの私が入るのは当たり前だ。毎日毎便の予約数が全部満席だったクリスマスと正月の連休期間は1月中旬まで続く予定で、終わったらやっと一息つけると思っていたのに、すぐに新しい工区会社の業務を学ぶことになった。ATSだけではなく、このエアライン業務が本当に忙しいなと思っている。

私も疲れすぎて、体がちょっと耐えられなかった。普段の疲れの蓄積に加えて風邪を引いたので、新年最初の一週間の頃、鼻水が止まっていなかったし、喉がめっちゃ痛かったので、1日が早退し、3日が欠勤しちゃった。今回の経験を通じて、社会に出ると自分の体調管理がますます大切だと感じた。特に一人で海外に暮らしている場合はなおさらだ。

そして、休みを取ることも学生のようなと違う。特に忙しい時期では、人手がもともと足りない中で私が休んでしまうことで、同僚たちにさらに負担をかけたり、疲れさせたり、残業させてしまうのは本当に申し訳ないと感じる。

實習活動照片
(4~6張)





